

## ひな祭りロールケーキ作り

2月27日、月見の里学遊館で食のワークショップ「ひな祭りロールケーキ作り」が行われました。

和洋菓子製造会社の洋菓子製品開発チーフを講師に招き、24人がケーキ作りに挑戦。講師の分かりやすい指導のもと、スポンジに生クリームやイチ

ゴ、オレンジを敷き詰め、慎重にロール状に巻き上げました。

仕上げに生クリームやチョコレールト、果物を添えてひな祭りの雰囲気飾り付け、プロ顔負けの見事なロールケーキを完成させました。



## 中学生の意見をまちづくりに

1月下旬から2月にかけて、原田英之袋井市長が市内4中学校を訪問し、中学生たちから市政についての質問や要望を聞く意見交換会が行われました。生徒たちは、市長の思いや市の概要

を真剣に聞くとともに、市の将来像についての質問や身近な生活面での要望など数多くの意見を発表。市長との対話を通して、市政への関心が高まった様子でした。



## 絶対に火遊びしません

2月29日、春季全国火災予防運動を前に袋井消防署浅羽分署では、管内の5つの幼稚園を訪れ、火災予防PRを行いました。

園児たちに火の恐ろしさを知ってもらうために、消防署職員が作ったオ



カミヤソウ、消火器の着ぐるみを着て、火災予防を啓発する劇を披露。「火遊びは絶対しないでね」と声を掛けられると、園児たちは「火遊びはしないよ」と大きな声で返事をしていました。



## 新たなにぎわいの街誕生

2月23日、久能向土地区画整理事業の完成を祝う記念式典・記念イベントが行われました。

平成14年5月、「袋井市久能向土地区画整理組合」が設立した当初は、バブル経済崩壊の影響で地価の下落や宅地需要の低迷など厳しいスタートでした。

しかし、市内で初めての民間業務代行方式による組合運営や関係者のご尽力により、計画通りの6年間で事業が完成し、約120戸の住宅と商業施設が融合した新しい街が誕生しました。



## 手話についてもっと知りたいな

2月28日、高南小学校5年生40人が耳の聞こえない人の暮らしや手話について学び、聴覚に障害のある方への理解を深めました。

児童たちは、聴覚に障害のある鈴木通浩さん(新屋)から普段の生活について説明を受けたり、手話や筆談など様々なコミュニケーション方法がある



ことなどを教わったりしました。

また、声を出さず口の動きだけでの伝言ゲームを行い、耳が聞こえない人の状況を体験。相手に言葉を伝えることの難しさを実感しました。ほかにも、「おはよう、こんにちは、ありがとう」などの手話を教えてもらったり、すぐに友達同士で実践していました。

